

不正防止の虎の巻

セキュリティ指南書

第20回

株式会社 A・P 総研
代表取締役

中野耕平
kouhei nakano

待ってるよラスベガス！ 前回までNYCの模様をお伝えしたが、今回からは歓楽の街ラスベガス編をお伝えしよう。アメリカセキュリティ視察第八弾！！

皆様、どうでしたか前回迄のNYC編。興味深く読んでいただいていたのではないのでしょうか。さて今回からラスベガスです。「斬、耕平が斬る！」

Good Bye NYC!...

貸切の小型バンは相も変わらずガタガタと揺れ、きしみを車内に響かせながらラガーディア空港へと向かった。なにも車だけのせいではない。その頃のNYCは特に橋の上では、喋っていると舌を噛みそうになるくらいに揺れていたのだ。

「だからアメ車のサスペンションはフワフワなんだな」と変に納得してしまった。空港に着くと初日に視察した「ライカーズ・アイランド刑務所」が、イーストリバー



ライカーズアイランド刑務所内での点呼している所

「俺たちが視察している時に警報がなり、本当に大事件に巻き込まれたかと焦ったぜ」と、数日前のことなのに、二度と経験することのない体験を思い出し、チョット、ウルッ

と来てしまった。

まずはシカゴ空港へ...

ラスベガスへの直行便が無かったのか取れなかったのか分からないが、シカゴ空港で乗り継ぎをした。

大した待ち時間ではないが、チョットだけ「シカゴに来たぞ！」ってな感じで、疲れてぐったりしている周りの皆んなを尻目に、自分ははしゃぎ回っていた。

今は「鹿が五匹でシカゴ」なんて言ってる、日本からの直行便が増えたが、現在のアメ

行きも帰りも、そして今回も乗り継ぎながらの長時間。「次からは、絶対ファーストクラスに乗れる男になってやる！」と、ささやかな誓いを立てたものだ。

1日かけて、炎天下のラスベガス(以下LV)空港へ到着。余談だが、街と国際空港が一番近いのがLVで、二番目が以前の香港空港、三番目が福岡空港。

飛行機の着陸時は窓に顔を、これでもか！ ってな具合にくっつけ、外の景色に見とれてしまいました。

旋回しているときは、砂漠の真っ只中に都市があるって感じだったが、近づくとその都市のデカさ、ビルの豪華さに目を奪われた。



空港内に置かれたスロットマシン。今となればチャチいかな？

「流石バグジーが金を稼ぎに来ただけのことはあるな」

又もや横道へ...

映画「バグジー」や、「ゴッドファーザー」の、モーグリーのモデルとしても有名なバグジー。

彼もまたNYCブルックリン出身だったし、NYCから逃げ出したのだから、どこまでもカポネにそっくりである。因みに、バグジーの本名はシーゲルと言う。



バグジーことシーゲル

シーゲルは西海岸に来るとハリウッドに目をつけた。そこを強引な手法で乗っ取ると、次に目をつけたのがLVだった。

当時のLVは小さなホテルしかなかったが、稼ぎの良い炭坑夫の懐を狙って、「ホテル・ラスベガス・フラミンゴ」の建設を行った。

結局多額の建設費の使い道を巡って、自宅にいるところを暗殺されてしまったが、梅毒で死んだカポネよりましかな。今の広盛振りを知ったら、シーゲルはどう思うことだろう。



ホテルミラージュ

ミラージュへ到着。キザな添乗員に迎えられ、向かった先は「ホテル・ミラージュ」。

かくも超一流ホテルとはこういうものかと、不覚にも口が大きく空いてしまった。入り口の豪華さもさることながら、熱帯魚の馬鹿でかい水槽など、これではゲストの財布が緩もうと言うものだ。

隣のトレジャーホテルでは、目の前の巨大な池に海賊船が浮かび、バトルを繰り広げる様子は圧巻である。

さてさて到着は夕方だったので、ディナーを楽しんだ後は、ホテルのスロットコーナーで軽く遊んだ。

セキュリティ勉強会...

翌日は素敵なモーニングを堪能した。目の前で焼いてく

リカで最も危ない都市は、その「シカゴ」だった。

チョット横道へ...

ギャングの中のギャング「アルカポネ」は、元々、NYCブルックリン出身だったが、警察の追及から逃れるため出て行き、次に根を下ろしたのがシカゴだった。



アルカポネ

れる目玉焼きに「Sunny-side Up Please」と、ガイド本に書いてあった言葉を、恥ずかしげもなく偉そうに宣った。さてさてミラージュホテルからシャトルに乗り、僅か1分ほど隣のトレジャーホテルに到着。両店は同じ経営だった。

レクチャールームに入ると、私のように？立派なヒゲを蓄えた「ステイブ・イーザリー氏」が迎えてくれた。



ゲーミングマネージャー イーザリー氏

兎に角、観光気分など吹き飛ばす。元々NYCでも観光は二の

そして密造酒と売春や賭博で莫大な利益を上げた。アンタッチャブルのエリオットネスとの戦いは、テレビドラマでも人気を博したので、ご存知の方も多いだらう。結局捕まりアルカトラズへ送られた。



アルカトラズ 2013年4月フェリーから撮影

クリント・イーストウッドが主演した、「アルカトラズからの脱出」見ましたか？

それほど遠くないので泳いで渡るのには容易に思えるが、凄まじい潮流の速さで岸まで泳ぐことは不可能とされた島。

2013年にサンフランシスコに行った時、アルカポネやクリント・イーストウッドを思い出し感慨に浸った。

ついにラスベガス到着！

アルカポネに想いを馳せながらシカゴ空港を後にした。しかしエコノミーは辛い！

次で、徹底的に勉強をするつもりだった自分には好都合。まさに勉強会というのに相應しい程に、彼の話は興味を惹き、学ばべき話でんご盛りとなっていた。

ステイブは両店のゲーミングマネージャーをしており、新しいゲーミングに関する法律を勉強し、さらに従業員教育を行っていた。LV内でゲーミングで起きる犯罪は、全てネバダ州に属す、「ゲーミングコントロール」で管轄されている。

その他の、例えば麻薬や殺人などは「メトロポリス」と呼ばれる市警察の管轄と分かっている。おっと、ここで紙面が尽きてしまった。次回はさらに興味深いLVでの裏事情？をお知らせし、おおいに、斬らせて頂こう。



なかの こうへい
1957年高知県出身。大手OA機器販売メーカー・大手建設会社などの勤務経験の後、パチンコ業界に入る。その後、三十年以上にわたり、パチンコ業界の全てを研究しつくし、各遊技業協同組合でも不正防止講演会に講師として参加するなど、不正防止の知識を広く伝えるべく活動を行っている。



記事に関するお問い合わせは A・P 総研まで Tel.03-3202-0971